

決 算 報 告 書

第 9 期 事 業 年 度

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

国立大学法人東京学芸大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,085	8,085	—	
うち補正予算による追加	137	137	—	
施設整備費補助金	383	340	△ 43	(注1)
うち補正予算による追加	179	—	△ 179	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	52	30	△ 22	(注3)
うち補正予算による追加	52	2	△ 50	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	41	41	—	
自己収入	4,076	3,822	△ 254	
授業料、入学料及び検定料収入	3,891	3,588	△ 303	(注5)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	185	234	49	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	391	402	11	(注7)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	58	58	(注8)
計	13,028	12,778	△ 250	
支出				
業務費	12,161	12,053	△ 108	
教育研究経費	12,161	12,053	△ 108	(注9)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	424	380	△ 44	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	52	30	△ 22	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	391	358	△ 33	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	13,028	12,821	△ 207	
収入-支出	—	△ 43	△ 43	

○予算と決算の差異について

(注1) 平成24年度補正予算(1号)を予算金額に加えているが、平成24年度中には収入に計上されていないこと、及び予算段階では予定していなかった収入を計上したことにより、予算額に比して決算額が43百万円少額となっています。

(注2) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が179百万円少額となっています。

(注3) 平成24年度補正予算(1号)を予算金額に加えているが、平成24年度中には一部収入に計上されていないこと、及び予算段階では予定していなかった収入を計上したことにより、予算額に比して決算額が22百万円少額となっています。

(注4) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が50百万円少額となっています。

(注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除額等の増加のため、予算額に比して決算金額が303百万円少額となっています。

(注6) 主として科学研究費等補助金の間接経費及び免許状更新講習料の受入れ等により、予算金額に比して決算金額が49百万円多額となっています。

(注7) 予算段階では予定していなかった国、地方公共団体、民間等からの受託事業の獲得に努めたため、予算金額に比して11百万円多額となっています。

(注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の決定により、予算金額に比して決算金額が58百万円多額となっています。

(注9) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が108百万円少額となっています。

(注10) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が44百万円少額となっています。

(注11) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が22百万円少額となっています。

(注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業等については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっています。